

# ハザードマップの目的

## 防災ハザードマップとは

天王山と桂川に挟まれた自然豊かな大山崎町は、古くから災害にも悩まされてきました。特に近年は災害が局地化、激甚化しており、全国各地で大きな被害が頻発しています。このような災害が大山崎町に起こったときに、自分自身・家族・地域を守るためには、災害そのものを知ることが重要です。

このハザードマップは、大山崎町で発生することが想定される水害、土砂災害、地震といった各種災害に関するリスクや必要な備えなどを示したものです。

ご家族や地域で、平常時の備えや緊急時の行動についてしっかりと話し合い、いざというときに少しでも被害を軽減できるようご活用ください。

※リスク想定は一定の前提条件のもとにシミュレーションしたものであり、前提条件と異なる災害が発生した場合は結果が異なる場合がありますのでご注意ください。



出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

## ハザードマップの使い方

- ① 自宅を見つけましょう  
自宅の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。
- ② 避難する場所を確認しましょう  
自宅の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。
- ③ 安全な避難経路を決めましょう  
自宅から避難所までの避難経路を考えましょう。川・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。
- ④ 実際に避難経路を歩いてみましょう  
足もとが悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上ではわからない危険が潜んでいるかもしれません。
- ⑤ 家族で話し合いましょう  
災害時の行動について家族と話し合い、マイ・タイムライン (pp.34-35) に書き込んでみましょう。
- ⑥ 学校や近所で考えましょう  
学校や近所で災害について話し合うことも大切です。いざというときは周りの人と協力して避難しましょう。

# 大山崎町で想定される災害

大雨が降ると、外水氾濫（洪水）、内水氾濫が発生するおそれがあります。ほかにも、山の斜面に近い地域では、土砂災害が発生するおそれがあります。

また、大きな地震が起こると、建物の倒壊や液状化といった被害が発生するおそれがあります。大山崎町では、南海トラフ地震や、有馬-高槻断層帯における直下型地震などによる地震被害が想定されています。

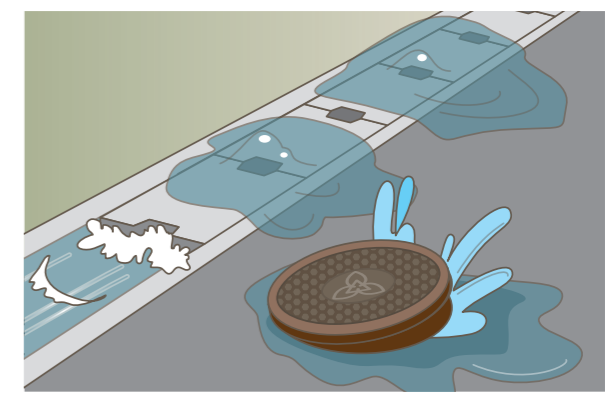
このハザードマップでは、ここまで挙げたような災害のリスクや、避難方法などを掲載しています。自分の家の周りでどのような災害が想定されているのか確認し、いざというときに適切な避難行動がとれるようにしましょう。

### 外水氾濫（洪水）



大雨によって、桂川、小泉川、小畑川、久保川などが増水し、洪水が発生する可能性があります。大きな河川で堤防が決壊すると、甚大な被害が想定されます。桂川・宇治川・木津川の三川合流の地である大山崎町では、上流域の雨量に注意が必要です。

### 内水氾濫



長期間にわたる雨やゲリラ豪雨などが降ると、町内にたまった雨水を排水しきれず、道路の側溝や水路から雨水があふれて浸水被害が発生する可能性があります。マンホールのふたが外れたり、側溝の場所が分かりにくくなったため、移動する際は注意が必要です。

### 土砂災害



天王山に降った雨水が土壌に浸透し、地中に水分が多く含まれた状態になると、がけ崩れや地すべり、土石流などが発生する可能性があります。大規模な土砂災害が発生すると、広範囲にわたって家屋の倒壊被害を引き起こすおそれがあります。

### 地震



南海トラフ地震や、有馬-高槻断層帯における地震が発生した場合、町全域で大きな揺れが発生し、家屋の倒壊などの被害が生じる可能性があります。また、地盤のゆるい土地では液状化現象が発生する危険性もあります。

災害への備え

水害

土砂災害

地震

マイ・タイムライン

災害への備え

水害

土砂災害

地震

マイ・タイムライン